

岐阜県立山県高等学校

学校長 酒井 猛
学校住所 岐阜県山県市中洞4-1
電話 0581-52-1551

令和4年度 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 会議名 令和4年度岐阜県立山県高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 開催日時 令和4年5月12日(木) 9:30~11:30
- 開催場所 山県高等学校 ゼミナール室(会議室)
- 参加者

会長	大野 良輔	山県市教育委員・元加茂農林高等学校長
副会長	藤木 節子	岐阜女子大学教授・元山県高等学校長
委員	九野 隆浩	山県市スポーツ推進委員
	山田 篤子	山県市主任児童委員
	山口 千里	中洞地区自治会長
	岡田みどり	PTA会長
学校側	酒井 猛	校長
	曾貝 隆之	教頭
	山田 達雄	事務長
	佐賀あゆみ	教務主任
	中谷 長史	生徒指導主事
	小川 信和	進路指導主事

5 会議の概要(協議事項)

- 学校運営協議会について・会長、副会長の選出
全委員の承認を受けた。
- 協議の進行について
 - 学校経営計画について
 - 学校紹介、四類型(普通、商業、福祉、工業)の説明
 - 学校運営方針の説明(指導の重点について)・委員による承認
 - 意見交換

(3) 学校経営計画・地域との連携について

意見1：山県高校は地域から応援を受けている学校であるので、生徒の姿を見てもらうことが大切である。その点、中学校の掲示板やCCN（ケーブルテレビ）での広報活動は山県高校の姿を適切に伝えることができている。きめ細かな学校運営を継続し、さらに地域との連携を深めてほしい。また、学校設定科目の効果的な選択など生徒が授業を理解し、学校で活躍できる場所があると学校生活がより充実するのではないかと。

(4) 学校行事、四類型（普通、商業、福祉、工業）の取組について

意見1：四類型の選択により、進路に対する意識が明確になり学習意欲等が向上しているように感じる。この素晴らしい取組をPRしてほしい。

意見2：工業類型の企業実習（デュアルシステム）は進路選択にどのような効果があったのか。

⇒地元企業には大変なご協力をいただき企業実習を行っている。お世話になった企業に就職した生徒もいるので、今後も企業実習は生徒の人間形成や進路選択において大きな役割を果たすものと考えている。

意見3：学校全体の教育水準が向上している。教職員においては「ONEチーム山高」を掲げて取り組まれているようなので、継続して指導願いたい。

意見4：部活動に注力してほしい。大会やイベントに積極的に参加し、学校以外の場所でも活躍してほしい。

意見5：3年生のインターンシップについて、実習先の企業決定前に保護者に向けた説明があるとよい。

⇒生徒には希望分野を調査したうえで商工会様や事業所様に依頼をすることによって、生徒の希望に沿ったかたちで実習先の企業を決定している。今後は保護者への説明をするか否かを含め、生徒にとって最良のかたちで実施ができるよう検討を進めたい。

(5) 生徒の指導について

意見1：入学後に就職や進学等の進路目標をしっかりと定め、卒業できるように指導を願いたい。

⇒生徒一人一人に寄り添い、わかるまで教え、できるまで導くことを具現化し、個々に応じたきめ細かなキャリア教育を目指す。

(6) 施設・設備・学校周辺環境について

意見1：最近学校周辺にゴミがなく、大変環境がよくなった。また、生徒が挨拶もしてくれるようになり気持ちがよい。

意見2：体育館が建設されてから、ツバメが非常に増えたため、周辺の車や家の屋根、洗濯物などに糞がよく落ちて困っている。何か対策をしてもらえないか。

⇒県教育委員会とも対応を協議願いたい。

(7) 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、今年度の本校の学校運営基本方針について説明を行い、全委員より承認が得られた。学校運営基本方針の説明では、CCNによる動画で本校の生徒が活動する様子を見ていただいた。そのほか、生徒からの気持ちよい挨拶や学校周辺の清掃などが地域から好評であった一方で、ツバメの糞害について指摘もあった。

地域との連携を求める声が多く、地域に根差した活動の必要性を強く感じた。